

仲井 斌教授 履歴・業績

仲井 斌教授 履歴・業績

〔履 歴〕

1935年10月28日 東京市王子区生まれ。

〔学 歴〕

1954年 都立新宿高校卒業

1959年 早稲田大学文学部哲学科卒業

1962年 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業

1968年 西ドイツのフリードリヒ・エーベルト財団の奨学生として西ドイツ留学

1969年 ドルトムント社会学院卒業

1970年 ボン大学哲学部政治学科入学

1972年 ドイツ社会民主党研究で修士課程修了，修士号取得

1975年 ドイツ社会民主党研究で博士課程修了，博士号（ボン大学PhD）取得

〔職 歴〕

1962年 日本通運労働組合機関紙の編集に従事

1965年 日本社会党政策審議会事務局勤務

1968年 西ドイツ留学

1969年 ドイツ社会民主党西ヴェストファーレン地域支部勤務。
選挙分析に従事。総選挙を体験

1969年－1970年 ボン大学で学ぶ傍ら，ボン市の応用社会科学研究所（世論調査）勤務

1974年－1993年 ボン海外日本人補習学校（土曜学校）校長

- 1983年－1993年 神奈川県専門委員・神奈川県欧州代表
 1986年－1989年 日本在外企業協会海外アドバイザー
 1990年－1993年 ドイツ三菱商事コンサルタント
 1993年 在独25年を経て帰国
 1993年－1999年 成蹊大学文学部（文化学科）教授（ドイツ近現代史担当）
 1999年－2005年 専修大学法学部教授（国際政治史・欧州地域研究担当）
 2006年 3月 定年退職
 （帰国以来，武蔵大学，東京大学大学院，成蹊大学で非常勤講師）

〔業 績〕

（単著）

Die deutsche Sozialdemokratie zwischen Nationalismus und Internationalismus 1945－1952, Druck und Verlag Ing.H.O.Hovelborn, Bonn 1975

『西ドイツの社会民主主義』（岩波新書）1979年

『激動の東西ドイツ』（毎日新聞社）1981年

『もうひとつのドイツーある社会主義体制の分析』（朝日新聞社）1983年

『緑の党ーその実験と展望』（岩波書店）1986年

『ドイツが一つになるー統一問題と欧州新時代』（日本放送出版協会）1990年

『ヨーロッパの外国人問題』（岩波ブックス）1992年

『現代ドイツの試練ー政治・社会の深層を読む』（岩波書店）1994年

『ドイツ史の終焉』（早稲田大学出版部）2003年

『現代世界を動かすものーアメリカの一極支配とイスラム・中国・ヨーロ

ツパ』(岩波書店) 2006年

(共著)

「グローバリズム断章」『グローバリゼーションと日本』専修大学社会科学研究所, 2001年

「欧州統合の現状と将来－歴史的, 政治的, 文化的見地から」正村公宏編『21世紀のグランド・デザイン』(NTT出版) 2002年

(単著 社会評論)

『自己チューの壁の中で「考える力」を捨てた日本人』(三笠書房) 2004年

(共編著 教育論)

『土曜日よこんにちは－西独ボン海外日本人補習学校の記録』(日本放送出版協会) 1988年

(共訳著)

Ikutaro Shimizu, Yoshiro Tamanoi (Hrsg.) Gesellschaft Japan, Wirtschaft und Gesellschaft Ostasiens, Westdeutscher Verlag, Opladen 1976

(論文)

「混乱期のドイツ内政を読む」『国際問題』1992年 8月号

「統一ドイツの断面」『神奈川大学評論』15号, 1993年

「ドイツ統一後の極右現象」『成蹊人文研究』5号, 1994年

「歴史家論争の歴史的意味」『成蹊大学文学部紀要』31号, 1996年

「ドイツ史の終焉－統一は普通の国民・国家を完成せしめたか」『思想』

1996年 5 月

「欧州統合における統一ドイツの位置づけ」『ドイツ研究』23号, 1996年

「ドイツ・第二の独裁－DDR史とDDR体制をめぐるディスクルス」『専修法学論集』76号, 1999年 7 月

「欧州統合を読む」『専修大学現代文化研究会報』78号, 2002年 3 月

「モデル社会主義の崩壊－DDR（東独）の内部解体を世論の変化から読む」『専修法学論集』87号, 2003年 3 月

「北朝鮮は全体主義国家か？」『専修大学法学研究所所報』No.27, 2003年 3 月

「アッラーと国際政治－21世紀を翔ける」『専修法学論集』91号, 2004年 7 月

「二つの中国と国際政治－21世紀を翔ける」『専修法学論集』92号, 2004年11月

「EUと国際政治－21世紀を翔ける」『専修法学論集』95号, 2005年12月

(雑誌・政治評論)

『世界』

「静かなる転換－西ドイツ」1977年 1 月号

「ドイツ社民党との対話」連載 6 回 1977年 5・6・7・8・10・11月号

「テロルの政治社会学」1978年 7 月号

「ベルンシュタインと修正主義」1978年12月号

「ドイツとユーロコミュニズム」1979年 5 月号

「ユーロコミュニズムと修正主義」1979年 2 月号

「ふたつのドイツ30年」1979年 9 月号

「二つのドイツ外交」1979年10月号

「オーストリアの道」1980年 4 月号

「オーストリア風社会主義」1980年9月号
「ドイツ保守主義の挑戦」1980年9月号
「四つの亀裂－西ドイツ」1981年7月号
「ある時代の終焉」1983年1月号
「政権交代のドラマ」1983年2月号
「ドイツ社民政権18年の総決算」1983年3月号
「緑の革命」1983年4月号
「緑のユートピア」1983年5月号
「剣を剣に－東西ドイツの平和運動」1983年11月
「平等の時代がやってくる－欧州のフェミニズム運動」1985年8月号
「緑の党－その実験と危機」連載8回 1985年11・12月号, 1986年1・2・
4・5・6・7月号
「90年代の欧州を考える」1989年9月号
「ドイツ問題の行方－東欧革命が投じた波紋」1990年3月号
「ドイツはまだひとつではない」1992年6月号
「ワイマールがやって来る？」1993年5月号
「欧州統合の未成交響楽」1996年8月号
その他数編

『朝日ジャーナル』

「ティンデマンス提案とECの現実」1976年4月5日号
「連合時代の内実」1980年2月22日号
「新ナチスの台頭」(上下) 1991年1月30日・2月6日号
「素顔の東ドイツ」連載26回 1982年3月26日－10月10日号
「西ドイツを二分した核配備論争」1983年12月9日号
「分断国家の40年」1989年10月13日号

その他数編

『エコノミスト』

「東独社会主義の内部批判－バーロー論文」1978年12月5日号

「宰相シュミット論」1979年5月29日号

「80年代の西ドイツ労働運動」（上下）1980年6月23日・30日号

「緑の党・保守との歴史的和解」1983年9月6日号

「路線論争で揺れる西独緑の党」1984年9月11日号

「社会構造の転換こそ必要」1984年6月10日号

「独独関係の新たな展開」1987年10月6日号

「東独革命が始まった」1989年12月19日号

「東独総選挙分析」1990年4月3日号

「ソビエト帝国解体に連動する欧州」1991年2月12日号

「戦後ドイツの精神構造は首都移転で変容する」1991年10月21日臨時増刊号

「ヨーロッパ新秩序を展望する」1992年6月16日号

「多文化社会に向かう欧州」1992年6月30日号

「ドイツ極右・外国人敵視の病理学」1993年7月27日号

「再びファシズムは台頭するか」1994年2月7日臨時増刊号

その他数編

『月刊朝日』

「コミュニズムは破産した」1989年1月8日号 他1編

『潮』

「緑の叛旗―西ドイツの政治変革」1980年7月号

「ヴァレンサへの手紙」1981年5月号

「ヨーロッパ中道政党論」1981年7月号

『経済評論』

「時短志向の背景と生活哲学」1985年8月号

(その他の雑誌省略)

(書評)

平島健司著『ドイツ現代政治』（東京大学出版会）1994年、『ドイツ研究』
1995年20号

山本佐門著『ドイツ社会民主党日常活動史』（北大図書刊行会）1995年，
『エコノミスト』1995年8月（29号）

P・レッシェ/F・ヴァルター著，岡田公平訳『ドイツ社会民主党の戦後史』
（三元社）1996年、『ドイツ研究』1997年24号

深澤民司著『フランスにおけるファシズムの形成』（岩波書店）1999年，
『専修法学論集』87号，2003年3月

(新聞政治評論・インタビュー・対談など)

『読売新聞』25編，『朝日新聞』8編，『毎日新聞』5編，『信濃毎日新聞』
「潮流欄」164編，同新聞その他35編，『神奈川新聞』35編，その他『共同
通信』，地方紙など多数